

電子版お薬手帳に係るアンケート調査

【事後調査結果】

電子版お薬手帳事業に係るアンケート調査（薬局向け事後調査）
【結果】

1 回収率

89.7% (708 回答 / 789 薬局)

2 地域薬剤師会別回収率

福島		伊達		二本松		郡山		田村		須賀川	
91.9%		86.5%		89.7%		88.6%		81.3%		93.9%	
回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数
136	148	32	37	35	39	109	123	13	16	31	33
石川郡		白河		会津		相馬		双葉郡		いわき	
100.0%		87.2%		90.5%		85.1%		100.0%		89.8%	
回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数	回答	薬局数
13	13	34	39	105	116	40	47	2	2	158	176

3 アンケート回答集計結果

(1) 設問1 薬局の状況及び電子版お薬手帳に関することについてお伺いいたします。

① 直近3か月での処方せん受付回数は、月平均おおよそ何回ですか。

500回未満	500～2,000回	2,000回以上	未回答	合計
139	442	121	6	708
19.6%	62.4%	17.1%	0.8%	100%

② 直近3か月に、電子版お薬手帳を持ってきた患者はいましたか。

いた	5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上	いない	未回答	合計
	204	200	4	0	0	0	0			
28.8%	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.8%	0.4%	100%

③ 直近3か月に、電子版お薬手帳で薬剤服用歴管理指導料を算定している患者はいますか。

いる	5%未満	5%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 40%未満	40%以上 50%未満	50%以上	いない	未回答	合計
	153	148	3	0	0	0	0			
21.6%	96.7%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	77.8%	0.6%	100%

④ レセコンは電子版お薬手帳用QRコード印刷に対応していますか。

対応している	分からない			対応していない※	レセコンを導入していない	未回答	合計	
	確認した	確認していない	未回答					
460	77	3	72	4	161	10	0	708
65.0%	10.9%	0.4%	10.2%	0.6%	22.7%	1.4%	0.0%	100%

【「対応していない」との回答のあったメーカー】

メーカー名	件数	メーカー名	件数	メーカー名	件数	メーカー名	件数
メルフィン	69	調剤くん	4	アポバーン	1	不明	11
レセプティ	23	エニファーム	2	P-GATE	1		
ファーマネス	25	シグマソリューションズ	2	アルファシステム	1		
ファーマシード	18	ファーマー	2	その他	2	合計	161

⑤ 直近3か月に、お薬情報の入ったQRコードを印刷し渡しましたか。

渡した	渡した			(複数回答可) ※回答数合計312件									未回答	※設問 回答 除外者	合計
	ほとんどの の方に渡 した	希望され た方に渡 した	未回答	渡して いない	要望がな いため	説明に時 間がかか るため	操作が面 倒なため	紙代が もった いな いため	印刷する 環境が ないため	その他※	未回答				
268	159	105	4	258	215	4	1	3	17	27	28	11	171	708	
37.9%	59.3%	39.2%	1.5%	36.4%	68.9%	1.3%	0.3%	1.0%	5.4%	8.7%	9.0%	1.6%	24.2%	100%	

【渡していない理由が「その他」の内容】

- ・要望があったが、そのときは対応できていなかった
- ・高齢者が多く、電子版お薬手帳（スマートフォン）を使っている人がそもそもいない。（4件）
- ・自分があまり理解できていない
- ・導入したソフトがうまく使えない
- ・QRコードを印刷すると枚数が増えるばかりで全く要望がないため渡していない
- ・高齢の方がほとんどなので、スマホ自体使えるとは思えない
- ・渡そうと思わない
- ・紙のお薬手帳でしっかり管理されているため
- ・来局なし
- ・知らなかった。
- ・準備中。環境が整い次第開始します
- ・レセコンは対応しているが未設定
- ・お年寄りが多くQRコードの使い方がわからない
- ・レセコンの設定を行っていないため（2件）
- ・印字設定を行っていない
- ・電子版お薬手帳の患者がいなかった
- ・対象者がいない
- ・まだ導入していない

⑥ 患者に薦めている電子版お薬手帳アプリはありますか。

(複数のアプリを紹介している薬局が3薬局有)

ある	(複数のアプリを紹介している薬局が3薬局有)								ない	未回答	※設問 回答 除外者	合計
	日薬eお薬手帳	CAR ADA お薬手帳	ヘルスケア手帳	har mo	おくすり手帳 Link	お薬玉手箱	自社アプリ※	その他				
173	76	4	15	0	9	0	44	28	355	9	171	708
24.4%	43.9%	2.3%	8.7%	0.0%	5.2%	0.0%	25.4%	16.2%	50.1%	1.3%	24.2%	100%

【自社アプリ】

メーカー名	件数	メーカー名	件数
アインアプリ	15	ポケットファーマ	2
クオールアプリ	12	マツキヨ	1
K-TAI2	5	不明	6
あんしんお薬手帳	3	合計	44

【その他のアプリ】

メーカー名	件数	メーカー名	件数
HOPPE	9	ファルモお薬手帳	3
ポケットファーマシー	5	不明	0
クラスAお薬手帳	6		
E P A R K	5	合計	28

⑦ 直近3か月に、患者が初めて、電子版お薬手帳のアプリをダウンロードした状況はいかがでしたか。一番多かった事例を選んでください。

ダウンロードされた方がいなかった	薬局で案内し、次回来局時までダウンロードされた方が多かった	薬局で案内し、その場でダウンロードされた方が多かった	すでにダウンロードされていた方が多かった	未回答	※設問 回答 除外者	合計
382	38	28	54	35	171	708
54.0%	5.4%	4.0%	7.6%	4.9%	24.2%	100%

⑧ どの年代の方が電子版お薬手帳アプリを利用されていますか（多い順に3つまで）。

利用者がいた	男性							女性							利用者がいない	未回答	※設問 回答 除外者	合計	
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上					未回答
201	5	27	75	91	76	14	0	3	37	58	56	23	8	1	1	309	27	171	708
28.4%	2.5%	13.4%	37.3%	45.3%	37.8%	7.0%	0.0%	1.5%	18.4%	28.9%	27.9%	11.4%	4.0%	0.5%	0.5%	43.6%	3.8%	24.2%	100%

⑨ 電子版お薬手帳に興味を持たれた方はどのような方が多かったですか（複数回答可）。

興味を持たれた方がいなかった	乳幼児の保護者	児童等の保護者	介護をしている方	慢性疾患を持っている方	複数の医療機関にかかっている方	その他	未回答	※設問回答除外者	計 複数回答
321	30	28	6	62	43	40	39	171	740
43.4%	4.1%	3.8%	0.8%	8.4%	5.8%	5.4%	5.3%	23.1%	100%

【興味を持たれた方がいた場合の「その他」の内容】（複数回答）

- ・紙のお薬手帳を持つのが面倒、持ち歩きたくないと言う方（17件）
- ・紙のお薬手帳を忘れる・忘れた方（8件）
- ・サラリーマン、ダンスインストラクター、若い方、臨時処方の方、医療関係者等（6件）
- ・説明していない（2件）
- ・スマホを持っている方（3件）
- ・誰からも質問を受け付けたことがない（1件）
- ・スマホでなるべく色々管理したい・管理できるという方（3件）
- ・冊子（チラシ）を見て興味を持たれた方（2件）
- ・別の薬局ですすすめられたとのこと
- ・門前のクリニック以外も受診している方
- ・スマホを持っていない人
- ・待ち時間軽減のために処方箋をメールで送信してくる方
- ・当薬局が対応できていないため
- ・現時点では電子版お薬手帳に関する話を聞かない
- ・処方伝送システムができるかどうか
- ・そもそもスマホを持っている患者が少ない
- ・IT関係は質問されてもわからない、やりたくない。

⑩ 直近3か月に、電子版お薬手帳により重複投与等を未然に防げた具体的な事例があれば、その件数をお教えてください（複数回答可）。

事例はなかった	禁忌薬の未然防止	重複投与の未然防止	相互作用の確認	過去の副作用・アレルギーの確認	その他活用事例	未回答	※設問回答除外者	計 複数回答
502	0	1	1	0	1	33	171	709
70.8%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	4.7%	24.1%	100%

(2) 設問2 電子版お薬手帳に対しての各薬局・個人での取り組みや運用についてお伺いいたします。

① 電子版お薬手帳の広報資材をどのように活用されましたか？(複数回答可)

個人又は薬局のSNSで広報した (facebook、Instagram、Line等)	地域イベントでの広報・配布	薬局店頭での配布						配布しなかった						未回答	※設問回答除外者	計 複数回答
		店頭において自由に持って行ってもらった	受付時に配付した	服薬説明の時に配付した	全ての患者のレジ袋に入れた	スマートフォンを使用しているかを確認したうえで配布した	その他	スマートフォンを利用している患者がいない	電子版お薬手帳の説明に自信がない	配布・説明する時間がない	電子版お薬手帳の推進には否定的のため	薬局の体制が整っていない	その他			
5	13	270	13	35	4	19	3	37	34	42	14	55	55	23	171	793
0.6%	1.6%	34.0%	1.6%	4.4%	0.5%	2.4%	0.4%	4.7%	4.3%	5.3%	1.8%	6.9%	6.9%	2.9%	21.6%	100%

【薬局店頭での配付した場合の「その他」の方法】

- ・紙のお薬手帳を忘れる方や持っていない方に配布(2件)
- ・お薬手帳を拒否されている方でスマホをお持ちの方に電子版お薬手帳の利便性を説明し配布

【薬局店頭で配付しなかった場合の「その他」の理由】

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いためスマートフォンを利用している人が少ない(10件) ・導入に向け準備中(7件) ・会社の方針が決まっていない(5件) ・要望がない(4件) ・お勧めする電子版お薬手帳アプリが決まっていない(3件) ・チラシは配付していないが、ポスターを掲示している(2件) ・災害時は電子機器は一切役に立たないアナログが一番だと思う ・患者が内容を見ることを許可しなかった場合の薬剤服用歴管理指導料がどうなるか不明 ・スマートフォンを自由に使いこなしている患者がいない | <ul style="list-style-type: none"> ・業務が煩雑 ・QRコード印刷はできるが患者データがとれない ・ソフトに改善の余地があるため ・一般的に周知されていないため ・説明文書がないため ・高齢者多数のため電子版よりも都合がよいみたいだから ・眼科受診の患者が多く、小さい画面での操作は困難と思われるため ・普及に時間を要すると思う ・理由はない | <ul style="list-style-type: none"> ・アプリの種類が多くて困る |
|--|---|---|

② 直近3か月以内に電子版お薬手帳アプリの導入に向けた検討をしましたか？

検討した	検討していない	未回答	※設問回答除外者	計
247	249	41	171	708
34.9%	35.2%	5.8%	24.2%	100%

【検討していない理由が「その他」の内容】（複数回答）

- ・既に導入（42件）
- ・需要・要望がない（27件）
- ・患者に高齢者が多いため、スマートフォンの利用者又はスマートフォンを自由に使いこなしている患者がいない（15件）
- ・電子版お薬手帳について説明する自信がない（7件）
- ・紙媒体のお薬手帳の利用者が多く、紙媒体のお薬手帳で十分と考えているため（6件）
- ・業務多忙により検討する時間がない、人手不足（6件）
- ・今後の検討していく予定（4件）
- ・会社で導入について検討中（4件）
- ・必要性を感じられず、推進するつもりはない（3件）
- ・高齢者が多くお薬手帳が根付いているため（2件）
- ・アプリの数が多く、それぞれの特徴がわからない（2件）
- ・経済的理由（2件）
- ・電子版お薬手帳の説明をするより、薬の適正使用の説明をする方を重視しているため
- ・アプリの操作に関する知識がなく、質問に対応できないため
- ・電子版お薬手帳に対応する薬局側の設備が整っていないため
- ・導入したが利用がなく解約した
- ・有料サイトであるため
- ・考えていない
- ・検討する理由がない
- ・医療機関の了解を得ていない
- ・会社からの指示がない
- ・1年以内に行ったため
- ・必要性が高くなってからでよいと思ったため

③ 直近3か月以内に電子版お薬手帳アプリを利用するため企業と契約しましたか？

契約した	既にしている	契約していない	未回答	※設問回答除外者	合計
20	123	366	28	171	708
2.8%	17.4%	51.7%	4.0%	24.2%	100%

【契約したアプリ】

メーカー名	件数	メーカー名	件数
目薬eお薬手帳	8	CARADAお薬手帳	0
おくすり手帳Link	6	ヘルスケア手帳	0
あんしんお薬手帳	1	不明	3
HOPPE	1	合計	20
ファルモ	1		

④ 直近3か月以内に「e薬Link」を利用し、スマートフォンを預かることなく、電子版お薬手帳の内容を確認しましたか？

確認した	確認していない	未回答	※設問回答除外者	合計
16	122	33	537	708
2.3%	17.2%	4.7%	75.8%	100.0%
合計人数				
47				

(3) 設問3 電子版お薬手帳に対してのご意見・ご要望、事業の取り組みや運用についての課題や要望があればご記入ください

- ・電子版お薬手帳は他の状況も見ながら対応していきたいと考えています。
- ・高齢の患者が多数で普及は困難。全体の1%未満のために設備投資する積極的理由が見つからない。
- ・レセコンメーカーの対応が遅く導入できていない（キビタンネットとの連動の確認に手間取っている）。
- ・ダウンロードやインストールといった登録が面倒だという意見があった。
- ・他の薬局で対応していないと断られたとの意見があった。
- ・電子版お薬手帳は便利だと思うが、まずは、紙のお薬手帳の配付や利用させることに専念したい。
- ・お薬手帳が電子化することで飲み合わせの確認が今までより難しくなると感じている。
- ・パンフレット（チラシ）は置いているが意見等はない。
- ・カード支払い、電子マネーを利用している人が電子版お薬手帳を活用している傾向がある。
- ・アプリを1つに統一して欲しい。
- ・どのメーカーと契約すべきか迷っている。
- ・（高齢者は）若い世代と違い、受け入れるのに時間がかかる。準備をどのようにしていけばいいのか、個人経営なのでメリットがよくわからない。
- ・電子版お薬手帳の業者が何件も説明を聞いて欲しいとの連絡がある。次のレセコン入れ替えのタイミングで開設者に相談しようかなと思っています。
- ・店頭で一定期間、チラシを置いていたが、持っていかれた方はほとんどおらず、うちに来ている患者にはほど100%に近い数でお薬手帳（紙）を持ってきていただいております。毎回活用し、意義を説明してきた。震災や災害時に電気が使えないとき、はたして電子版が紙版よりも優位に機能を果たせるとは思えません。
- ・患者から、電子版お薬手帳について聞かれたことはありません。
- ・今のところ患者が高齢の方が多く、スマートフォン等を使用できる方がいない。対応薬剤師もスマートフォンの扱いに自信が持てない状況にあります。今後の課題です。体制は整えるつもりです。
- ・お薬手帳を持ってきていただくのに苦労している状態なのに電子版お薬手帳など程遠い話です。アンケートに協力依頼とあったので協力したかっただけです。何でもかんでも経費が掛かる話は薬剤師会として阻止してもらいたいです。
- ・電子版お薬手帳は患者に浸透していない。
- ・（スマートフォンであれば、）ほとんど持ち歩いているので忘れることはない。
- ・問い合わせがあった（40代男性）。導入するのにランニングコストはどれくらいかかるのか検討中
- ・薬局に来られた若い人に進めようと思っていますが、時間の余裕がなく、まだまだです。
- ・パンフレットの設置はしているものの要望がありません。また高齢者は理解できないようです。今後、説明方法の改善を検討しようと思います。
- ・電子版お薬手帳はまだ反響など全くありません。今のところお薬手帳で十分だと思います。高齢者には難しいのでは？
- ・各地域ごとの説明会。勉強会を開いてほしい。時期的に忙しいときでももう少し次官的に余裕があるときに開いてほしい。
- ・必要性がない。
- ・電子版お薬手帳に関する質問はない。患者の年代が電子機器についてきていない。
- ・高齢者にアプリを使用させる意味がわからない（スマートフォンを持っていない）
- ・子連れの方、複数人管理したい方。なかなか普及しない印象です。
- ・高齢者が使いこなせるのか疑問
- ・時間がない。
- ・マスコミでも取り上げられているのに全く反響がない。電子版お薬手帳は患者からの要望があつて行ったものであれば普及すると思いますが、患者からの希望がない。そのため、田舎は難しいのかもしれない。
- ・電子版お薬手帳を持ってくる人がいない状態です。電子版お薬手帳の仕組みを理解したい。
- ・QR希望者2名のみ
- ・患者の年齢が比較的高めのためスマートフォンを使えない。

- ・現在の紙媒体のようにドクターや薬剤師が全ての併用薬や過去の記録の確認ができるのかが疑問です。併用薬や重複投薬がおきるのではと考えてしまいます。全てのアプリの内容を簡単に確認できるように統一していただければと思います。
- ・一番お薬手帳が必要である高齢の患者において、携帯電話の機能活用ができていないのが現状です。簡単に移行できないものと考えます。
- ・高齢者には敷居が高い。ほぼほぼ来局者が高齢者のためニーズがない。
- ・全く反響がない。
- ・前回の時も回答したがサービスに期待が持てない。後期高齢者が多いため電子機器の所持率が少なく、説明しても把握してもらえないという状況です。
- ・必要性が不明
- ・電子版お薬手帳を使用しているので、紙のお薬手帳は使わないという方が多いため、過去を遡っての（服薬情報の）確認や入退院時のお薬手帳活用にマイナスの効果が考えられる。こういったシステムではなく、保険証のICカード化による処方データ確認できるシステムの実用化が早期に行われるようになればよいと思います。
- ・まだよくわからない。
- ・来局者からの問い合わせはなかった。
- ・今のところ問い合わせ等はない。
- ・アンケートにはできる限り協力したいとは思いますが未対応でも了承をお願いします。
- ・薬局内でアプリダウンロードをしてすぐに利用してもらいたかったが、パスワードの設定等に手間取り、次回までにやっておくという状態になった。スマートフォンを持っていても高齢の方には設定が難しいという話があった。
- ・現在はまだ導入も検討していませんが、将来的には導入すると思いますので、情報があればいろいろと教えていただきえればと思います。
- ・高齢者の患者が多いので電子版お薬手帳にはほとんど興味がないのが実際です。
- ・1名の方から「利用できるか」と聞かれています。残念ながら、（薬局の）体制ができておりせん。電子版お薬手帳に関する意識は持っていますが、なかなか難しくいいのが現状です。早い時期にと考えています。
- ・患者さんのスマートフォンを預かるということが足かせになっていると思う。e薬LINKの存在を知らなかったのもっとPRするとよいと思う。
- ・キビタンねっととの連動が望ましい。CARADAの普及に向けて環境整備を進めるべきと思う。
- ・対応する自信が全くありません。
- ・年配の方が多く、操作もあまりできない方が多いので、中には持っていない方もいる。まずは初めに身内からあたっていかうかと考えている次第です。
- ・薬局で対応できるところは増えているようだが、開業医や医療機関ではどうやって対応しているかわからない。処方元、薬局、患者の3者でうまく利用できなければ普及しない。
- ・全員が電子手帳にはならないため作業が煩雑になる。当薬局では導入しない。
- ・個人的にスマートフォンのダウンロードして社内でも勉強会などをしていますが、今のところ患者からの要望や説明を求める声は皆無の状況です。ほとんどの患者が高齢の方なので仕方ないかという感じです。
- ・現在のところなし。対応のため、レセコンメーカー等に確認中。インターネットにつなげる手続き中です。
- ・そもそも個人所有の物を使うことに反対
- ・お年寄りの利用にはハードルが高いと感じる。災害時でも対応できるような対策がしっかりとれているのが少し不安があり、紙のお薬手帳のほうが実際に使いやすいと感じている。
- ・来局者からの問い合わせもない。
- ・高齢者が多くまたその家族が受取にくるパターンが多く、話をあまり聞いてもらえません、理解力に乏しく、スマートフォンの保有率も低いです。まだまだ認知されるのには時間がかかりそうです。
- ・あたかも予約ができるようなアピールをしているが予約にはまだ対応できないのでそのような機能が独り歩きしてしまうと困る。どのアプリを薦めてよいかかわからない。
- ・検討する余裕がなかった。
- ・スマートフォンを持っている人が少ない。
- ・複数の医療機関を受診し、お薬手帳を利用している方は高齢者に多いため、スマートフォンを持っていない。また若い方はあまり受診しないので必要性を感じないとの意見がありました。
- ・会社の方針が定まっていない。
- ・広報活動が整っておらず、知らない人が多い。患者が高齢者が多いためスマートフォンを持っていない。
- ・お薬手帳を持つのが面倒だと思っている方が興味を示していた。QRコード出力設定のやり方がわからない。
- ・特に反響や聞かれることはなかった。
- ・病院や診療所での電子版お薬手帳の対応や活用方法について知りたい。
- ・ワンタイムパスワード使用
- ・アプリに統一性があるのか等、十分な知識がなく、上手に患者様に説明ができない。また情報漏洩なども心配。
- ・年配の方が多く、スマートフォンを持っていないか、持っても使いこなしていない。
- ・普及に向け積極的にアピールしていく。

- ・e薬LINK利用してもパスコードを聞くことができない方が何人かいました。なんとか対応していただけないかと思っています。
- ・QRコードが読み込みづらい。
- ・高齢者が多いので一人もいません。
- ・ランニングコストなどが少し下がれば・・・。
- ・体制が整わないですが、チラシをみた患者から早く導入して欲しいと頼まれた。
- ・お薬手帳アプリの種類が多く、どのアプリを使えばいいのかわからない。スマートフォンであれば常に所持しているため手帳を忘れがなくなる。
- ・高齢者が多くデジタル弱者が多い
- ・来局者に電子版お薬手帳を話題にあげた方はいなかった。
- ・会社として電子版お薬手帳に対応しているか。年配の患者が多いため理解している方はいない。
- ・緊急時（意識不明時）手帳が活躍すると説明しているため、携帯をどのように（意識がないまま）活用するか曖昧になってしまい、やはり紙ベースを進めてしまっています。
- ・電子版お薬手帳の要望なし、来局者の年齢から説明しても理科を得られるまで時間がかかる、リード上の問題もある。
- ・本社と電子版お薬手帳アプリを今検討中でどのアプリを使用するかまだ分からない。
- ・来局者から電子版お薬手帳について何か質問されたりされたことはありませんでした。
- ・年配の方に説明、理解していただくのが非常に難しい。
- ・需要がない。
- ・どこの電子版お薬手帳アプリと導入するか決めかねている。
- ・高齢の患者が多いのでスマートフォンを使える方が少ないのが現状
- ・高齢者が大半のため、アプリ要望なし。
- ・スマートフォン利用者が少ないです。
- ・一人だけ電子お薬手帳を使用したいという患者がいました。今のところ定期処方の方のほとんどはスマートフォンを十分に使いこなしている方がいないように思う。当薬局では普及、患者の利用に理解をいただくのは難しいと思います。
- ・スマートフォンどころかパソコンやケータイも所持していない方が多いため難しいと思われ（70～100歳の患者が多い）。
- ・今後、必要性はあるが、アプリ、ソフトが多数存在し、相関関係が統一されていない。必要性は十分感じているが、まだ実施をまっている状態である。
- ・スマートフォンにうといので、アプリの良しあしや操作が簡単かとか預からなくても良いとかよくわかりませんが、セキュリティがしっかりしているものを教えて欲しい。
- ・患者からのオーダーはありません。以前他の薬局で導入しましたがスマートフォンの利用はあったとしても我々スタッフに見せるのは嫌がるが多かったと思います。企業と契約してスマートフォンを預からないとしてもチェックできることがまず必要と感じました。
- ・高齢者が多く、問い合わせなど一切ない。
- ・高齢者がほとんどで、スマートフォンの利用も限定されているため、電子版お薬手帳までの興味を持っていない。これから説明していきたい。
- ・当店のお客様は大ベテランの80から90歳の方がほとんどです。すべて電子化にならないことを望みます。
- ・スマートフォンを既に使いこなしている人にとっては、便利だと思うが高齢者にはやっと一冊の手帳で毎回持参していただくことが定着してきたところである。（以前は手帳を持参しても薬局毎や医療機関毎に手帳を使っていて、他のところの手帳を見せてくれる方もおかった。なぜ、一冊にするべきか、時間をかけて理解していただき今日にいたっている。高齢者には確実に紙ベースの手帳を持参していただくことを徹底することと今後、キビタン健康ネットワークが機能することが大切と思う。
- ・年齢層が高いため電子版お薬手帳について知らない人がほとんどでした。
- ・本部の指示待ち「チェーン薬局のため」
- ・レセコンメーカー連動の電子版お薬手帳があれば利用したい。
- ・お年寄りが多いのでスマートフォンを使えない方が多く、どう活用できるか。難しいところです。
- ・会社全体としての導入意思がわからない。
- ・アプリの違いで面倒だと、かかりつけ薬局に行かれた方「お薬情報を見せよう」がみつけれず、併用を電子版お薬手帳で確認できなかった。
- ・年配の患者が多く来局されるので、反響は特にありません。時代の流れで電子版お薬手帳の使用が増加することを踏まえ勉強していかなければならないと身が引き締まる思いです。
- ・反響なし
- ・写真にて先にFAX送れるのが便利とお話がありました（ヘルスケア手帳で契約している）。
- ・登録の方法がわからないという方が多かったです。
- ・忙しかったため。
- ・電子版お薬手帳についての問い合わせはない聞かれたことがない。
- ・どのアプリを選んだらいいかわからない。
- ・（電子版お薬手帳の利用者が）来ない。
- ・去年から今年に入り3人程度の（電子版お薬手帳を利用している）方はいました。まずは若い世代から浸透していけばとは思っております。ご年配の方はスマートフォンがない私たちには関係ないという意見が複数人おりました。

- ・最近では患者も手帳に医師への質問を書いてもってこられたり、ドクターもそれに対してコメントをかいったりと紙の手帳を活用してくれている。
- ・普及推進の意図はわかりますが、高齢者のことも頭内で考慮されたい。
- ・ほとんどが後期高齢者のためニーズがありませんでした。
- ・スマートフォンで確認してみましたが、使用し難い。お薬手帳の方が情報をとる手段として優れている。
- ・通常のお薬手帳においても利用率が低く電子版についてもなかなか普及しない。必要性は説明しているが、急性疾患で普段は服用しないのでいらぬという方が多いです。
- ・患者のスマートフォンを操作してもらい手帳の中身を見せてもらうのはとても嫌がられるため、もっと簡単な方法はないものか。
- ・人によって紙のお薬手帳のほうが便利な場合もある。本人が書き込んだり薬剤師が投薬しながら書き込めるため在宅の場合も紙のほうが便利だと思います。
- ・高齢者が多く、スマートフォンを持っていない人が多い。
- ・会社での取組みがない。
- ・意識が低く反省している。自分自身が苦手だと人にも勧められず反省している。早めに導入できるようにしたいと思います。
- ・スマートフォンが重くなるのが嫌だといった方がいた。
- ・電子版は苦手です。
- ・今のところ要望が少なく、導入に関しては検討中である。QRコードは出力できる状況にあるので様子をみたい。
- ・来局者からの反響や意見はない。
- ・過去に一人だけ電子お薬手帳をもった人がいたが、レセコンが対応していなかったため、目視のみで対尾いうしたようだ。他は今まで特になにもなかった。
- ・電子版お薬手帳についての問い合わせはない。
- ・手元に預かることができないためやりにくい。
- ・自分の電話番号すら画面に移せない方が多い中、電子管理は高齢者には無理だと思う。
- ・来局者からの問い合わせは今のところない。
- ・スマートフォン版のお薬手帳があること自体、まだまだ知らない方も多いなという印象です。
- ・ほとんど高齢者の患者のため。
- ・携帯電話にデータがあるといざというときに手帳を忘れても安心
- ・特に要望はありませんでした。
- ・対応できなかったとき、ご自分で入力している方もいました。
- ・若い人からはお薬手帳を持つより薬という意見があった。年齢が行かれている人はスマートフォンを持っていない率がほぼです。
- ・来局者から今のところ全くありません。高齢者が多いためスマートフォンを持っていない方がほとんどです。今後の状況をみたいと思います。
- ・まだ普及しないと思います。1年間様子をみて2人しか持参しないです。個人的な感想として紙のお薬手帳でいいと思います。
- ・来局者からの問い合わせ、利用希望者等はなかった。
- ・一律ではなく、ニーズのある患者を選択して情報提供すると良いと思います。各地薬での研修会が必要ではないかと思えます。
- ・電子版お薬手帳の案内を積極的に配布し周知しているがなかなかアプリの仕様までは至っていません。
- ・高齢者の割合が非常に高く、普及が難しい。
- ・アプリが多く現場での対応が困る（知らないアプリの操作方法を聞かれても答えられない）むしろアプリを1つに絞って貰ったほうが患者に対し進めやすいし、対応しやすい。
- ・種類が多いためお勧めに迷う。またQRを渡すだけでは紙のお薬手帳を忘れる人と同様に読み込んでくれない人もいるため、アプリと連携したサービスを薬局に導入したいが、これもどれにすればいいか会社としてなかなか結論がだせないでいる。
- ・地方の患者（特に当薬局のような放射線被害のあった地域）では、高齢者がほとんどであり、スマートフォンを持っている人自体がほとんどいないのが現状である。レセコンのバージョンアップが必要な施設もあると思われ地盤を固める必要があると思われる。（無償でのバージョンアップ）
- ・サーバーの統一を希望（すべてのアプリがe薬LINKに対応しているかどうか）
- ・電子版にする目的がわからない。
- ・会社内での統一するため検討中。
- ・患者からスマートフォンを受取り、手帳の内容を確認するのがなかなか難しいと思う。
- ・機材導入費用や投薬口スペース等を考えると今までのノート型（紙のお薬手帳）のほうが良い場合もあり、コストに見合った報酬がなければ電子版を取り入れるのは経営面から厳しい状況
- ・患者の利便はありますが、アプリの開発にあたり、もっと入念なテストを行う必要があると思います。
- ・電子版お薬手帳はスマートフォン対応であり、スマートフォンをもっているほどの収入がない。国で広めたいのであれば、スマートフォンを支給してもらいたいとの患者からの意見がありました。確かに携帯電話は皆が使用しているわけではなく、ガラケーの方も多くいるので難しい感じがします。
- ・取り揃え前確認の際、確認に時間がかかる、スマートフォンなのでお預かりしづらい。
- ・アプリが複数あり、どれがいいかわからないと患者から訴えがあった。こちらもどれを勧めたらいいのかよくわかりません。
- ・複数の薬局を利用されている方でそれぞれのアプリで管理するのが大変なのでシステムを一元化してほしいとの意見をいただいた。

- ・電子版お薬手帳はインターネット上にデータを残すことになるため、怖いという意見があった。安全性については話をしたが、紙手帳で十分との意見があった。
- ・現状はスマートフォン画面を拝見する必要があり、普及の妨げになっていると思う。レセコンソフトが電子手帳の内容を取り込める使用ではないので推進することを生かしていない。
- ・2から3人、興味と持たれた人がいました。
- ・スマホをみせるのを渋られる
- ・興味があっても利用にいたっていない。若者から中年でアプリ利用がある一部の方しか使いこなせないのではないか。